

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊 裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	産業動物臨床獣医師確保支援事業
目的	(1) 対象 産業動物臨床獣医師確保を図るため修学資金貸与事業を行う畜産団体 (2) 意図 畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物分野の新規臨床獣医師の確保を促進し、本県の獣医療体制の維持を図る。
事業概要	本県の産業動物診療、特に牛については主に家畜診療所が主体となって実施しており、本県の肉用牛振興上、必要不可欠な機関の一つである。近年の退職者数が多い期間における産業動物臨床獣医師の確保を図るため、畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物分野の新規民間獣医師の確保を促進する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	産業動物臨床獣医師修学資金貸与者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	6.00	5.00
式・定義	貸与決定者/貸与予定者×100		実績値	0.00	0.00	0.00	2.00		
			達成率		0.00	0.00	33.40		%
指標名	式・定義	産業動物臨床獣医師修学資金貸与者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	1,200	3,600
うち一般財源(千円)	1,200	3,600

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

家畜診療所へ就職を希望する新卒者が少なく、その確保が厳しい状況が続いている。このため退職者の再雇用により定員数を維持している状況が続いているが、将来的に安定した年齢構成にするためには、新卒者の採用が必要となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

H26年度は2名の修学資金貸与を開始し、数年後の新卒者の確保につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・貸与者が予定数に満たない。

②困っている状況が発生している「原因」

・県内出身の学生が少ない。
・小動物診療を志す学生が半数以上を占めている。

③原因を解消するための「課題」

・学生の産業動物臨床分野への就職誘導

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県としても大学就職説明会やインターンシップなどで家畜診療所の採用活動への協力を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）